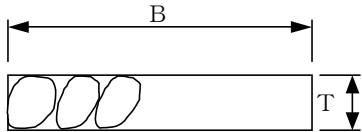
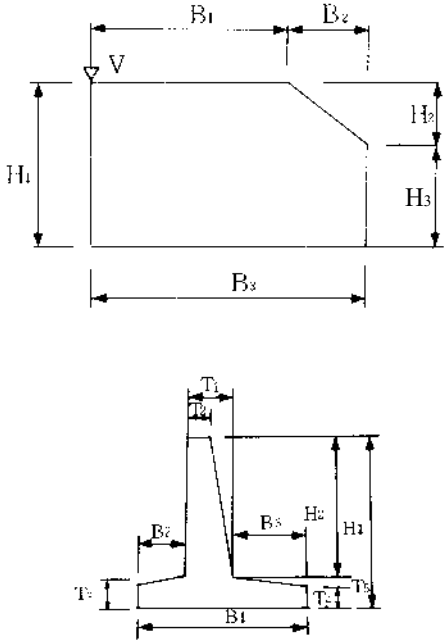


工 種		項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
1 共 通 工 事	5 矢板 打工 (矢板護岸を 含む)	1 基準高(V)	± 30	± 45	線的なものについては 施工延長おおむね 20m につき 1 箇所割合で 測定する。 上記未満は 2 箇所測定 する。
		2 中心線の ズレ (e)	± 65	± 100	
		3 施工延長		⊖ 0.1%、 ただし延長 200m未満 ⊖ 200	
	6 オープンケ ーソン	1 基準高(V)	± 65	± 100	構造図の寸法標示箇所 を測定する。 幅、厚さ、長さについ ては 1 ロット毎に測定 する。
		2 幅 (B)	± 30	⊖ 50	
		3 厚さ (T)	± 13	⊖ 20	
		4 高さ (H)	± 65	⊖ 100	
		5 長さ (L)	± 30	⊖ 50	
		6 偏位 (e)	200	300	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
基準高、中心線のズレ で20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの及び 施工延長	左記のもので箇所単位のもの		中心線のズレは中心線より右を⊕左を⊖とする。 指定仮設は基準高等が明記されたもの。
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	基準高、幅、厚さ、高さ、長さ、偏位		

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
1 共 通 工 事	7 栗石基礎 砕石基礎 砂基礎 均しコンクリート	1 幅(B)	栗石基礎、砕石基礎 ⊖ 130 砂基礎、均しコンクリート ⊖ 65	⊖ 200 ⊖ 100	線的なものについては 施工延長おおむね50m につき1箇所の割合で 測定する。 上記未満は2箇所測定 する。 箇所単位のものについ ては適宜構造図の寸法 標示箇所を測定する。
		2 厚さ(T)	栗石基礎、砕石基礎、 砂基礎 ⊖ 30 均しコンクリート ⊖ 13	⊖ 50 ⊖ 20	
		3 施工延長		⊖ 0.2%、 ただし延長 50m未満 ⊖ 100	
	8 コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎 コンクリート側溝 コンクリート管渠 横断構造物 コンクリート擁壁 その他上記に準ずるもの	1 基準高(V)	⊕ 30	⊕ 45	線的な構造物について は施工延長おおむね 20 mにつき1箇所の割合 で測定する。 上記未満は2箇所測定 する。 箇所単位のものについ ては適宜構造図の寸法 標示箇所を測定する。
		2 幅(B)	⊕ 20	⊖ 30	
		3 厚さ(T)	部材厚 30 cm未満 ⊕ 15 ⊖ 13 " 30 cm以上 ⊕ 20 ⊖ 15	⊖ 20 ⊖ 25	
		4 高さ(H)	2 m未満 ⊕ 20 2 m以上 ⊕ 30	⊖ 30 ⊖ 45	
		5 施工延長 (又は長さ)		⊖ 0.1%、 ただし延長 2m未満 ⊖ 30 10m " ⊖ 50 50m " ⊖ 100 200m " ⊖ 200	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	重要構造物の基礎のみ及び施工延長	左記のもので箇所単位のもの	 <p>A diagram showing a rectangular cross-section of a pipe. The width is labeled 'B' and the thickness is labeled 'T'. Inside the rectangle, there are three circles representing the pipe's internal structure.</p>	管水路の基礎は「8 管水路工事 1 管体基礎(砂基礎等)」による。
基準高、幅、厚さ、高さで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの又は構造図に朱記、併記することが困難なもの及び施工延長	箇所単位の構造物について、基準高、幅、厚さ、高さ	 <p>Two diagrams illustrating structural dimensions for a pipe section. The top diagram shows a trapezoidal cross-section with dimensions: B_1 (top width), B_2 (top width offset), B_3 (bottom width), H_1 (total height), H_2 (height of the top section), and H_3 (height of the bottom section). A point 'V' is marked at the top left. The bottom diagram shows a more complex cross-section with dimensions: T_1 (top thickness), T_2 (top thickness offset), B_3 (width of the top section), B_5 (width of the middle section), H_2 (height of the middle section), H_1 (total height), T_3 (bottom thickness), T_4 (bottom thickness offset), and B_1 (bottom width).</p>	

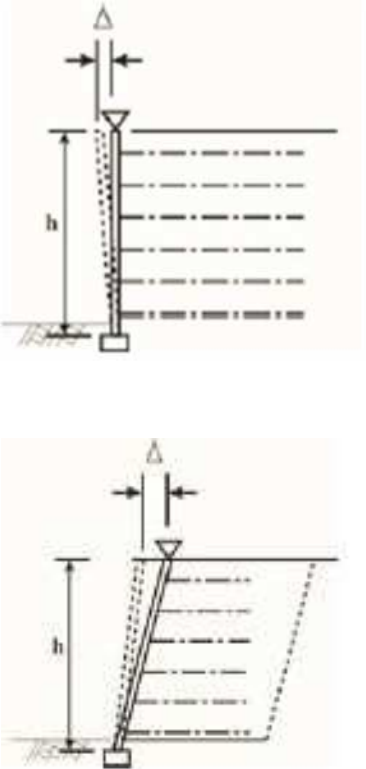
工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
1 共 通 工 事	9 精度を要するもの 分水工計量部 ゲート戸当部 橋台沓部	1 基準高(V)	± 15	± 20	構造図の寸法標示箇所を測定する。
		2 幅 (B)	± 7	± 10	
		3 厚さ(T)	± 13	± 20	
		4 高さ(H)	± 7	± 10	
		5 長さ(L)	± 7	± 10	
	10 U 字 溝 U字フリューム ベンチフリューム	1 基準高(V)	± 25	± 40	施工延長おおむね 50mにつき 1 箇所の割合で測定する。
		2 中心線のズレ (e)	± 30	± 50	
		3 施工延長		⊖ 0.1%、 ただし延長 200m未満 ⊖ 200	
	11 土 水 路	1 基準高(V)	指定したとき± 65	± 100	上記と同一。
		2 幅(B)	⊕ 100 ⊖ 50	⊖ 75	
		3 高さ(H)	指定したとき ⊕ 100 ⊖ 50	⊖ 75	
		4 施工延長		⊖ 0.2%、 ただし延長 200m未満 ⊖ 400	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	基準高、幅、厚さ、高さ、長さ	<p>A cross-sectional diagram of a stepped pipe structure. It shows a vertical pipe with several horizontal sections of different diameters. Dimensions are labeled as follows: B_1 (total width at the top), B_2 (width of the top section), T_1 (thickness of the top flange), B_3 (width of the second section), B_4 (width of the third section), V (vertical distance between sections), B_5 (width of the bottom section), I_2 (thickness of the bottom flange), H_2 (height of the top section), H_1 (height of the middle section), and H_3 (height of the bottom section).</p>	
基準高、中心線のズレで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの及び施工延長	—	<p>A cross-sectional diagram of a U-shaped pipe. The vertical distance from the centerline to the top edge is labeled e. The diameter of the pipe is labeled ϕ. The vertical distance from the centerline to the bottom edge is labeled V.</p>	
基準高、幅、高さで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの及び施工延長	—	<p>A cross-sectional diagram of a trapezoidal pipe. The diameter of the pipe is labeled ϕ. The top width is labeled B_1. The height of the pipe is labeled H. The vertical distance from the centerline to the bottom edge is labeled V. The bottom width is labeled B_2.</p>	

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
1 共通 工事	12 鉄筋組立	1 かぶり (t)		$\oplus \phi$ かつ最小かぶり以上 ϕ : 鉄筋径	測定箇所標準図による。 1 スパン (1 打設ブロック) ごとに測定する。
		2 中心間隔 (b)		$\oplus \phi$ ϕ : 鉄筋径	
		3 本数、径	設計値以上	設計値以上	
		4 鉄筋の種類	設計値以上	設計値以上	
		5 継手長	設計値以上	設計値以上	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-6)	構造図に朱記、併記するもの		
—	○	—	<p>鉄筋のかぶり(t)の測定位置(ボックスカルバートの例)</p>	1面当たり 4箇所程度 測定する。 同一鉄筋上 での測定は 行わない
			<p>中心間隔(b)の測定位置(ボックスカルバートの例)</p>	1面当たり鉄 筋10本程度 の間隔を測定 する。 測定箇所は、 スパン毎に同 じ位置となら ないように測 定する。

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
1 共 通 工 事	14 補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	1 基準高▽		⊕ 50	施工延長 40m(測点間隔 25m の場合は 50m)につき1ヶ所、延長 40m(又は50m)以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。
		2 高さ h		h<3m ⊖ 50 h≥3m ⊖ 100	
		3 鉛直度△		±0.03 h かつ ±300 以内	
		4 控え長さ		設計値以上	
		5 延長 L			⊖ 200

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
				<p>本項目は、土木工事施工管理基準（平成31年4月）熊本県土木部を準用</p>